

— **就業機会共有制度** <深刻不況下での唯一公正な救済法> —

米に発する世界不況深刻化、今回は簡単に回復しない。そこで**雇用生活保障が最優先課題**。最低需要回転経済では必ず**雇用圧縮**が不可避。原理的に手立ては二つしかない。

**[1]: 既成認識を兎も角一度忘れろ!!、今回ばかりは歴史的な大不況!!**

都心高層ビル下の道路には圧倒的な物流交通、街頭はビジネス、生活等で行きかう身なり丹精な人々多数、戦後**世界経済成長大潮流既成観念** 下に本日課題が念頭に、だが奢る平家は長からず、**盛者必衰の理**なり。諸行無常とは時間一定不変なもの無しの意味。世界経済は米国が成長技術等と大規模市場とを海外に提供し、海外余剰資金が米国投資に還流すると言う大潮流下に回転してきた。但しそれは一方的な**米国負債超巨額膨張付随**で。

**成長先行投資 = 負債増大 → 市場有限性 = 不況不可避 → 破綻企業 → 金融信用崩壊 → 不況深化。**

米国には民間と行政府に**総額 53 兆 \$ 大借金**、米とてまともに返済できる額にない。欧州、アジア、中南米全てが米依存関係、調子の良いのは産油国程度だが戦乱危機も。今回米不況は見かけの**経済運転ミス**などの水準でないより深い**歴史思想的な“自発意思”**がある。それは今後人類歴史生き残り戦略に関わろう。背景に**気候変動危機不可逆地獄点**が控える

**[2]: 既成固定観念で“経済政治”を遣れば、大失業社会混乱が不可避!**

(1)従来**の経営発想**では**不況需要減退 = 生産縮小 = 雇用圧縮**の国民切捨て政策しかない。

失業率 5%程以下ならば少数として従来は切捨てご免ごで済ましてきた。失業保険は生活半年保証しかない。就職失敗 = 生存否定であり、当事者は怒りになるのが常識。

(2)不況需要減退 = 生産縮小 = 雇用総量圧縮の過程それ自体はもはや不可避<今後再論>。

それでも人が生きてる以上は最低限度生産供給として**最小経済回転**と雇用が存在。

其れで最低限度生活保障を国民全員に保証するとしたらばどうする!!!?、

一つの雇用需要を多人数で分割供給するしかない。週休三日制度しかない!!!

優位にある皆が給与分割減を呑まないと社会混乱になるだろう。

(3)中小企業破産も不可避、最後は自己破産しか道がない。経営者にも求職需要。

(4)頼りの政府財政公共支出も当然ながら**税収自然減**で後退する事は不可避。

(5)他方で世界的な**金融信用破綻**の現在、富裕層は引き上げ資金をタンス預金。

この行き場を失った資金は富裕層課税しか生きた使い道がない。ここでも

優位にあるものが**資産分割**を呑まないと社会混乱なる。

(6)大不況下で保守体制護持となれば**警察軍事抑圧国家**への右翼暴圧路線しかない。

いずれを選択するかは皆様の考えと行動一つです。大人かどうかが試される。

(7)週休三日制度は「金と見栄は」減るが時間が持てる。それは使い方工夫次第。

**最小経済回転**は気候変動危機不可逆点回避に必須な事でもあります。